

## (報告事項) 令和 5 年度圏域別取組状況について

1	秩父郡市医師会	……	1 頁
2	秩父郡市歯科医師会	……	3 頁
3	秩父郡市薬剤師会	……	4 頁
4	保険者協議会	……	5 頁
5	看護協会	……	6 頁
6	秩父市	……	7 頁
7	横瀬町	……	8 頁
8	皆野町	……	9 頁
9	長瀨町	……	10 頁
10	小鹿野町	……	11 頁
11	秩父消防本部	……	12 頁
12	埼玉県秩父保健所	……	13 頁

秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体名 秩父郡市医師会

令和5年度 圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだ事業

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制）、県特殊救急医療体制（SSN・SAN）に努めている。  
休日診療所は、日曜・祝日9時から17時、執務医師2名体制で対応。
- ② 地域健・検診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。また積極的に特定保健指導を行っている。なお新たにABC検診事業を開始した。
- ③ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ④ 1歳6ヶ月児検診、3歳児検診、また屈折検査器機を用いた3歳児視力検査を行っている。
- ⑤ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑥ 1市4町の実務者と医師会役員が一堂に会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討するべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置。特に令和5年度は地域内の新型コロナ対策、ワクチン接種の実務者協議の場としての役割を果たした。
- ⑦ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町、各訪問看護ステーションと共同で事業を進めている。
- ⑧ ちちぶ版在宅緩和医療体制を構築し、高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
  - ・ACP人生会議普及啓発事業に派遣する講師の人材バンクへ協力
- ⑨ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑩ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和5年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、新型コロナとインフルエンザの同時流行の予防に努めた。
- ⑫ 大規模災害時の医療提供対策に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会、訓練等へ参画している。

- ⑬ 患者およびその家族から医療・介護従事者への暴力、ハラスメント対策事業を展開している。
- ⑭ 地域住民へのさまざまな健康啓蒙活動を、講演の他、ホームページ、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員、父兄を対象にした講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 行政と共同で管内の公立、私立保育所並びに幼稚園におけるアレルギー生活管理指導表の書式統一を図る。
- ⑰ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。
- ⑱ 介護認定二次審査会、障がい者自立支援審査会に多職種と連携しながら事業に取り組んでいる。

## 新型コロナウイルス対策

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR 検査センター、診療・検査医療機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
  - ・ コロナウイルス後遺症外来の圏域内設置。
- ② ちちぶワクチン推進会議にて、管内 1 市 4 町の首長との意見交換、情報共有を図っている。内容はワクチン接種にとどまらず、新型コロナ感染症全般にわたっている。
- ③ 新型コロナ患者数増加に合わせて、2 次救急病院、休日診療所、在宅当番医以外の診療・検査医療機関を臨時に設置し、診療検査、治療に当たった。
- ④ 医師会休日診療所を休日の発熱外来として整備し、大勢の患者を受け入れ検査、治療した。
- ⑤ 新型コロナワクチン予防接種事業として
  - ・ 郡市民であれば秩父地域内どこでも接種可能な秩父方式として実施。
  - ・ 各医療機関における個別接種ばかりでなく、管内の集団接種への医師、看護師の派遣を行った。また医師会館（休日診療所）でも接種を行った。
  - ・ 新型コロナワクチン予防接種健康被害調査委員会への参画。
- ⑥ 新型コロナの 5 類移行後、管内の感染状況をいち早く判断するため、管内医療機関を受診した陽性患者数を集計し情報提供。また医師会 HP でも地域住民向けに公開している。10 月からはインフルエンザも同様に調査、公開している。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父郡市歯科医師会

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
  - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置  
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
- 2、休日在宅歯科診療の実施
  - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
  - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため一般向けパンフレット等の配布、講演会等の実施
  - ・保健センターまつりにて「オーラルフレイル」についての講演を実施
  - ・災害時の口腔に対する周知、「お口の防災グッズ」の作成と配布
  - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
  - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
  - ・地元中小企業の歯科健診の実施
  - ・各地域で行われる健康まつり会場での歯科健診を実施
  - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政並びに多職種との連携の推進
  - ・ちちぶ医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への委員派遣
  - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
  - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている
  - ・秩父保健所管内歯科口腔保健連携会議にて、秩父郡市内での歯科口腔保健推進に向けた話し合いを実施した

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父郡市薬剤師会

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### 生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養食事指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養、褥瘡などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会 年2回）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施（在宅地域ケア勉強会）
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）への参画
- ・キッチンカーで山間部や限界集落へ出向いてのサロン活動、地域包括と連携しての活動
- ・新型コロナウイルス感染症の患者への緊急訪問対応

### 精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中高等学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

### 救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局

## 令和5年度秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 保険者代表（小鹿野町福祉課）

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### ■特定健康診査受診率向上対策事業

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。

#### ○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上（小鹿野町は35歳）の若年層も視野に入れ、被保険者の特定健診及び特定保健指導を実施し健康管理の促進を図っています。また、各医療機関にご協力いただきながら診療情報提供事業の実施や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。各市町において対象者をタイプ別に細分化し特性に基づいた内容の案内を送ったり、インセンティブとして賞品を贈呈するなど受診勧奨に工夫をこらしています。

#### ○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀬町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドックの健診費用の一部を補助しています。

#### ○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。2年度の間評価を基に、健康寿命の延伸に向け効果的な保健事業に取り組んでいます。

#### ○後期高齢者健康診査の実施

後期高齢者医療では、筋力や心身の機能低下予防対策として、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

#### ○糖尿病性腎症重症化予防事業。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨、また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

#### ○健康増進事業の推進

健康づくりへの習慣と関心を高めるため、住民の興味をひくような内容の事業を行い健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする事業を進めています。

### ■親子に対する支援対策

#### ○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の取組

妊婦を対象にアンケートを行うなど、意向調査を行い、その結果を基に子育て家庭に寄り添ったきめのこまかい相談に対応している。

#### ○児童虐待や自殺予防に対する取組

小中学校に対して、自殺予防に関する普及啓発事業を実施。気になる方に個別相談を実施。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

### 団体・機関・市町名 看護協会

#### 【看護・介護人材の確保促進の推進】

##### \*埼玉県看護協会では

- ・看護師、准看護師、保健師、助産師で仕事に就いていない人の届出制度
- ・進路相談  
将来看護師の道に進みたい学生、社会人を対象として実施
- ・ふれあい看護体験  
高校生対象に病院見学や看護実習、胸骨圧迫やAED体験を実施
- ・再就業技術講習会  
潜在看護職に対して、最近の看護や知識、技術を体験し再就業のステップとなるように講演会を実施

##### \*埼玉県教育局推進「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」から、埼玉県看護協会「看護の出前授業」として実施

- ・市内小学校の1校にて、6年生31名が参加
- ・「いのちの大切さ」「看護師の仕事」等に対して講演会を実施  
(看護師の仕事紹介、看護師への道の説明のほか、聴診器やパルスオキシメーターを使って「いのち」を実感してもらう)

##### \*秩父地域看護師会では

- ・定期的に会議を開催し、情報交換を実施  
その他、スムーズな転院調整ができるよう情報共有を適宜行う
- ・秩父看護専門学校とは、病院実習を受け入れていけるための相談や調整を行う。
- ・看護師介護士対象に研修会開催

##### \*その他

- ・高校生対象に半日看護体験を実施し、病院見学や看護実習、ICLS見学を実施

以上

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父市

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### 【ちちぶ医療協議会の取組】

#### ①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び初期救急従事病院（小鹿野中央病院）に対して財政支援、また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設のため秩父郡市薬剤師会に対して財政支援を行い、病院勤務医・スタッフの負担軽減、医療スタッフの増員、患者の利便性の向上などを図ることができた。

病院や地域の診療所などで活躍できる総合診療専門医を養成するために立ち上げた、総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」において、1名の専攻医（プログラム制）の研修サポートを行った。

#### ②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

### 【妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化】

伴走型相談支援の充実を図るために妊娠8か月時のアンケートを開始し、希望される妊婦及び支援が必要とされる妊婦には面談や訪問を行った。

産後ケア事業を産後の体調や育児に不安がある方は利用できるように、対象者の見直しを行った。

### 【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

令和5年度に策定中の「秩父市健康づくり計画 健康ちちぶ21（第3次）（令和6年度～令和17年度）」では、この推進について第2次からの引き続きの取組みとして位置づけている。

がん検診の受診率向上のため、勧奨通知の送付、国保特定健診や協会けんぽ組合の特定健診と同日実施などを実施した。また、医師会、1市4町や市立病院等と連携した「糖尿病性腎症重症化予防事業」に継続して取り組んだ。令和5年度は事業の評価・書式の見直しを行い、保健師・管理栄養士による訪問指導を実施し、人工透析への移行防止に努めた。

### 【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。



## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 横 瀬 町

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### ◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

#### (1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「横瀬町わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。また、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

#### ●主な健(検)診受診率

特定健診	R3年度	45.2%	→R4年度	44.3%	→R5年度	40.0%(見込み)
大腸がん検診	R3年度	12.6%	→R4年度	12.5%	→R5年度	13.7%(見込み)
胃がん検診	R3年度	4.8%	→R4年度	8.7%	→R5年度	11.7%(見込み)

#### (2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業及びコバトン ALK00 マイレージ事業への参加・実施

平成29年度よりコバトン健康マイレージ事業に継続して参加し、令和6年1月末現在で523名の方の申込みがある。

また、令和6年1月16日より新たに開始したコバトン ALK00 マイレージ事業にも参加し、より多くの町民に参加いただけるよう、ウォーキング教室や健(検)診時での周知及び操作講習会を行い、令和6年2月7日現在で93名の方に参加していただいております。参加者のウォーキング継続の励みになっている。

#### (3) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。  
令和5年度申込者数：4名

### ◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。(全6回：隔月)

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「ゲートキーパー養成講座」を職員及び、民生委員を対象に全2回(1月10日、1月17日)実施し、町職員27名、民生委員・児童委員23名に参加いただいた。

その他、骨密度測定受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や、広報等で啓発を行った。

### ◎子育て支援事業の取組

#### 子育て世代包括支援事業及び母子保健事業の充実

令和5年度より新たに発達検査及び、作業療法士による個別の療育相談を開始するとともにオンライン相談支援体制を構築し、子育て家族への相談支援体制の強化を図った。乳幼児健診では、3歳児健診と5歳児健診にスポットビジョンスクリーナーを使用した視覚検査を継続し、既存のアンケートや家庭での視力検査と併せて、弱視の早期発見に努めている。弱視等の早期発見、早期治療につながっている。また、1市4町同一の内容で開始した産後ケア事業では、対象者を拡大し、出産や育児で疲れた母親の体と心のケア、また赤ちゃんのケアのサポートなどの更なる充実に努めている。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 皆 野 町

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### 【親と子の保健医療対策】

#### 1. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の取り組み

- ①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師・助産師が個別に相談対応する。また、担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師・助産師が相談支援を実施。
- ②全出生児を対象に地区担当保健師・助産師が家庭訪問を実施。

### 【生活習慣病対策の推進】

#### ①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

#### ②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始。

令和5年12月末現在、延べ利用人数857人。

#### ③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院）と連携した保健指導を実施。

#### ④減塩・高たんぱく食環境整備事業

町内の協力店に依頼し、減塩食品や高たんぱく食品の陳列棚等にPOPを掲示し、当該食品が目につきやすい食環境整備を行う。令和4年度から実施。

### 【精神医療と自殺防止対策の推進】

#### 1. 自殺予防の取り組み

##### ①児童生徒のSOSの出し方に関する教育

「SOSの出し方に関する教育」について、町内の小学校に通う5・6年生、中学校全生徒及び教職員に対してリーフレットを配布し普及啓発。

- ②住民健診の問診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師等が個別相談や家庭訪問を実施。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 長 瀬 町

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### ■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

#### ○母子保健事業から子育て支援事業の一体的実施

組織編成により「健康福祉課」から「健康こども課」となり、母子保健事業から子育て支援事業を一体的に実施している。子育て世代包括支援センター、子育て支援拠点としての「多世代ふれ愛ベース長瀬」で、母子保健事業、子育て支援事業、子育て相談事業等を継続して実施し、今年度は特に町の子育て支援事業のPRに力を入れてきた。埼玉県が主催した「子育て応援フェスタ」にも参加し、長瀬町の子育て支援事業を県内にPRすることができた。妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援として、「伴走型相談支援」を開始し、子育て家庭に寄り添った支援を実施した。

#### ○児童虐待予防対策

児童虐待防止対策を強化するため、子育て中の養育者、子育てを見守っている地域の人達、また地域で子ども達を支援している支援者、さらに将来親となる思春期の子ども達に視点を当て事業を展開した。性教育の第一歩として、保育園児に対し「大事なからだ」の講話や親学講座として、助産師による「性のおはなし～おうちでどうする？」をテーマに講座を実施した。

### ■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

#### ○生活習慣病の予防と重症化対策のハイリスクアプローチ

特定健診結果からリスクのある者を抽出し、体組成計を活用した健康相談、民間企業によるオンライン栄養相談、今年度からは、地域の理学療法士の協力を得て、運動指導も入れた包括的な取組を実施した。

#### ○町民とつくる健康増進プロジェクトの開始

第2期健康増進計画・食育計画・自殺予防計画の策定をするにあたり、今年度から町民の意見を施策に反映させる健康長寿プロジェクトを立ち上げた。埼玉県立大学等と連携してアンケート調査を行い、健康課題分析についても連携して行った。

#### ○健康増進事業の充実

信州大学が開発した、科学的に立証されている「インターバル速歩」の歩き方講座や「ながとろ花めぐり講座」「サーキットチェアトレーニング講座」などを公民館事業と共催して実施し、前期高齢者の獲得と男性の参加者の増加を確認することができた。また、一般財団法人簡易保険加入者協会の「健康タウン構想の推進支援団体」として、今後5年間、ラジオ体操講座等の支援が受けられることとなった。今年度は、公民館との共催事業である「健康と文化のコラボラボ」事業として、ラジオ体操講座を実施した。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 小鹿野町保健課

令和5年度中に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

### 【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期から子育て期まで切れ目ない子育て支援総合相談体制の強化(こども課)  
家族支援として、ファミリー面接(本人・夫・こども等)を実施し、夫や本人をとりまく関係者支援をすることで、妊娠期から家族支援の充実を図っている。
2. 乳幼児健診の強化(保健課・こども課)  
乳幼児健診において個別相談を実施するほか、3歳児健診においては、オートレフ検査を実施し視能訓練士の総合判定による早期発見・早期治療に繋がっている。また、法定外健診で5歳児健診を実施し、子育て支援センター・関係機関と連携して軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を強化している。

### 【在宅医療の推進】

1. 地域包括ケアシステムの連携と充実  
保健・医療・福祉が「個々を支える」「皆で考える」「つなげる」隙間を埋めていく支援を目指し、「地域ケア会議」「包括ケア会議」「自立支援型地域ケア会議」等により人生の最期まで住み慣れた場所で自分らしい生活が出来るよう、協働して在宅医療を推進している。「私の療養手帳」の発行数は令和5年度は25冊（令和6年1月末現在）であり、在宅療養の推進に活用されている。

### 【生活習慣病対策の推進】

1. いきいきおがの健康ポイント2023の実施  
20歳以上の町民を対象に、特定健診やがん検診受検での【必須ポイント】と保健課主催の教室や講演会参加や運動チェックカレンダー利用での【参加ポイント】の合計ポイントに応じてインセンティブとして賞品を贈呈。
2. 糖尿病重症化予防連携事業の実施  
糖尿病重症化予防のために、町立病院の医師・看護師・検査技師・管理栄養士・事務職、保健課保健師・管理栄養士で構成されたメンバーで月1回、糖尿病患者の対応や教育入院のリニューアル等について検討している。

### 【精神医療と自殺防止対策の推進】

1. こころの相談事業と人材育成の実施

### 【健康危機管理体制の整備充実】

1. 高齢者見守りネットワークの推進
2. コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名 秩父消防本部

令和5年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等（自由記載）

- 1 救急自動車、救急自動車積載資器材等の現場活動で必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成及び救急救命士の再教育を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。  
※令和5年度に実施した認定救急救命士養成の実習及び講習等は下記のとおり。
  - ① 気管挿管病院実習（熊谷総合病院）2名
  - ② ビデオ喉頭鏡座学講習（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）2名
  - ③ ビデオ喉頭鏡病院実習（熊谷総合病院）2名
  - ④ 気管挿管再教育病院実習（深谷赤十字病院）3名
  - ⑤ 指導救命士養成研修（埼玉県消防学校救急救命士養成課程）1名
  - ⑥ 管内救急告示病院、深谷赤十字病院で病院実習による再教育を行う。
- 2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者に対しドクターヘリ、ドクターカー要請や管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。
- 3 一般市民、小学生、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。
- 4 秩父郡市医師会と連携し初期救急医療の調整及び二次救急輪番制病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）と連携し二次救急医療の調整、当番日の割り振りを行う。
- 5 救急車の適正利用広報のため、ラジオ出演や救急講習時に広報及びポスター配布を行う。

## 秩父保健医療圏の圏域別取組について

団体・機関・市町名

秩父保健所

令和5年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

### 【救急医療(小児救急を含む)】

#### ■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

・救急電話相談( # 7119)の周知・啓発に取り組んだ。

### 【親と子の保健医療対策】

#### ■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町等を対象とした会議及び研修会を開催した。

#### ■児童生徒の健康保持の増進

・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員等に対して、薬物依存に関する研修を実施し、知識の向上を図った。

### 【在宅医療の推進】

#### ■広域的な在宅医療体制の推進

・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

### 【生活習慣病対策の推進】

#### ■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

・秩父保健所管内地域・職域連携推進会議を開催し、地域保健と職域保健の連携を図り、生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んだ。

### 【精神医療と自殺防止対策の推進】

#### ■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため会議や研修会を実施し、支援機関等への知識向上を図ると共に、連携体制の構築に努めた。

#### ■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

・「語らいのつどい」を6回開催し、自死遺族等への支援に努めた。

#### ■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。AAが主催するセミナーにゲストスピーカーとして参加し、保健所の取組について周知を行った。

### 【健康危機管理体制の整備充実】

#### ■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

・医療機器依存度の高い難病患者等に対して、災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。  
・難病対策地域協議会や支援従事者研修会を開催し、災害時等の危機管理体制の整備に努めた。また、関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

#### ■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

・令和5年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。  
・管内高齢者施設等を対象に感染対策研修会を開催した。  
・新型コロナ対応を振り返り関係機関と一層の連携を図るため、管内市町・病院・保健所による会議を開催し意見交換を行った。  
・新型コロナ対応の経験を踏まえ次の新興感染症発生に備えるため、秩父保健所健康危機対処計画(感染症編)を策定した。